

【開催報告】両立支援コーディネーター事例検討会・交流会を開催しました

令和8年9月11日(金)、愛媛県林業会館において、「両立支援コーディネーター事例検討会・交流会」を開催しました。

「事例検討会」は、両立支援コーディネーター基礎研修修了者を対象に、コーディネーターとしての資質向上・スキルアップを目的として、「交流会」は、両立支援コーディネーター同士の情報交換やネットワークの構築を目的として、同日に合同開催いたしました。

当日は、一般企業をはじめ、医療機関、支援機関など、様々な分野で活動されている両立支援コーディネーター20名、ファシリテーターとしてメンタルヘルス対策・両立支援促進員3名、愛媛労災病院 治療と就労相談窓口 相談員2名の皆様にご参加いただきました。

最初に、がんサポートのパイオニアとして活躍されている、NPO 法人愛媛がんサポートおれんじの会・松本陽子理事長に「患者・家族などが期待する支援について」ご講演をいただきました。



【講演の様子】

参加者は、患者・家族の思いや支援者に期待されることなどについて学んだ後、乳がんになり患した労働者が復職を目指す事例を用いてグループワーク形式で事例検討を行いました。



【グループワークの様子】

グループワークで協議・検討した結果について各グループから発表した後に、産業保健相談員で長年事例検討会のご指導をいただいている「統括ファシリテーター」四国がんセンター産業医 灘野成人先生から、両立支援コーディネーターの関わり方として、

- ・コーディネーターの役割は、課題を整理し関係者間で相談できるように支援することが大事
- ・相談者の状況をしっかり把握し、その人の役割・生き方・働き方なども理解することが大事
- ・治療のフェーズに応じた体調の変化を見据え、復職までではなく、就労定着まで支援することが大事
- ・治療期間・タイムラインに応じた予測的アプローチとして、先回りして備えることが必要

などの助言をはじめ、事例検討会全体の講評・総括をいただきました。



【講評・総括の様子】

事例検討会終了後は、30分間会場を開放し、参加者による「交流会」に移りました。特

に議題や進行役は設けず、自由に語り合えるよう“場”のみを設けましたが、事例検討と一緒に取り組んだ後だけに、“仲間”として話が弾んでいました。

参加者アンケートでは、

「他業種の方からそれぞれの立場からの意見が聞けて有意義でした」

「講師から患者としての意見や思いを聞かせてもらい、これからの面談に活かせると思います」

「相談者が言葉にしていない背景まで汲み取る姿勢を学べる機会になりました」

などの感想が寄せられ、理解度・満足度・有用度ともに高い評価をいただきました。

愛媛産業保健総合支援センターでは、今後も両立支援に携わるコーディネーターの皆様が、様々な事例を通して学び合い、関係者同士の連携を深めることができる機会を提供していきたいと考えていますので、ぜひご参加をお願いします。

なお、今年度は診療報酬「就労・両立支援指導料」の改定に伴い、両立支援コーディネーター基礎研修の受講を希望される方が大変多くなっているそうです。

今年度の基礎研修は、残り2回を残すのみとなっております。受講を検討されている方におかれては、お早めにお申し込みされることをお勧めします。

「両立支援コーディネーター基礎研修」の詳細・申込については、「労働者健康安全機構(本部)」ホームページの下記サイトをご確認ください。

[両立支援コーディネーター基礎研修 \(JOHAS\)](#)